

# 令和 6 年度赤坂地区高齢者相談センター 事業評価チェックシート

## 【事業計画・報告に掲げる大項目】

- 1 設置目的達成に向けた取組
- 2 介護予防ケアマネジメント
- 3 総合相談支援
- 4 権利擁護業務
- 5 包括的・継続的ケアマネジメント
- 6 その他の事業
- 7 運営体制

○このチェックシートは、高齢者相談センター（地域包括支援センター）が、センターの基本的な業務について、センターがセルフチェックすることで日常的に業務の実施状況を点検するとともに、年度末における点検結果を地域包括支援センター運営協議会における事業評価に反映するものです。

○高齢者相談センターは、各チェック項目ごとの実施状況に応じた選択肢を記入してください。

- a：適切にできている
- b：概ねできている
- c：できていない（実施していない）

○評価欄は、事務局がチェックシート等を元にした各センターへのヒアリングを実施後、記入します。  
（S、A、B、Cの4段階評価）

※事業評価チェックシートの評価は、事業評価コメントシート（様式2）における評価のベースとします。

# 港 区

# 令和6年度赤坂地区高齢者相談センター事業評価チェックシート

チェック項目		高齢者相談センター記入欄	事務局 記入欄
1. 設置目的達成に向けた取組		(選択肢)	記入欄
	地域の特性に合わせた現状分析・課題分析が適切に行なわれている	a ・ b ・ c	a
	当初の計画に沿って取組が実施されている	a ・ b ・ c	a
	当該年度の業務における課題が明らかになっている	a ・ b ・ c	a
	職員全員が課題の内容を理解し、一丸となって取り組んでいる	a ・ b ・ c	b
			A

2. 介護予防ケアマネジメント		(選択肢)	記入欄	評 価
要 支 援 1 ・ 2	利用者に十分な説明を行い、適切なアセスメントに基づいたケアプランの作成が行われている	a ・ b ・ c	a	A
	必要なモニタリングと評価ができています	a ・ b ・ c	a	
	ケアプランの質を向上させる体制を整備し、職員の実務にいかせる取組を行っている	a ・ b ・ c	a	
	介護予防支援業務における利用サービス事業所及び委託する居宅介護支援事業所の選定は適切に行っている	a ・ b ・ c	a	
	委託した介護予防サービス計画の内容を確認し、適宜、委託先の居宅介護支援事業所の支援を行っている	a ・ b ・ c	a	
介 護 予 防	対象者の状態を的確に把握し、適切なケアマネジメントの目標設定ができています	a ・ b ・ c	a	
	事業実施者と連携し、適切なモニタリングや評価ができています	a ・ b ・ c	a	
	評価が困難な事例等について情報収集・共有し、ケアマネジメントを行っている	a ・ b ・ c	a	
	介護予防の必要性など、普及啓発を日常的に行っている	a ・ b ・ c	a	

3. 総合相談支援		(選択肢)	記入欄	評 価
高齢者のあらゆる相談を受け入れられる体制が整っている	a ・ b ・ c	a	A	
個別訪問等により、地域の高齢者の状況把握を行っている	a ・ b ・ c	a		
困難事例の対応への手続きや流れを職員全員が理解し適切に対応できる	a ・ b ・ c	b		
地域の社会資源やニーズを把握し、地域のネットワーク構築を行っている	a ・ b ・ c	a		

4. 権利擁護業務		(選択肢)	記入欄	評 価
成年後見制度等の利用への支援・啓発を行っている	a ・ b ・ c	a	A	
高齢者虐待の通報に対し、適切に対応している	a ・ b ・ c	a		
高齢者の消費生活被害の防止に関する啓発等を行っている	a ・ b ・ c	a		

5. 包括的・継続的ケアマネジメント		(選択肢)	記入欄	評 価
包括的・継続的ケアマネジメントの体制を構築し、関係機関と連携して対応している	a ・ b ・ c	a	A	
地区内の介護支援専門員（居宅介護支援事業所）を把握し、ネットワークの構築を図っている	a ・ b ・ c	a		
介護支援専門員を対象とした研修や事例検討会を実施するなど、支援体制を構築している	a ・ b ・ c	a		

6. その他の事業		(選択肢)	記入欄	評 価
介護予防普及啓発事業を実施している	a ・ b ・ c	a	S	
認知症サポーター養成講座を実施している	a ・ b ・ c	a		
港区独自事業の実施にあたっては、関係部署と連携して実施している	a ・ b ・ c	a		
港区が実施する事業等へ、関係機関と連携して実施している	a ・ b ・ c	a		
認知症予防の啓発及び認知症高齢者への対応を行っている	a ・ b ・ c	a		

7. 運営体制		(選択肢)	記入欄	評価
配 人 置 員	地域包括支援センターとして、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	c	B
	指定介護予防支援事業所として、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	c	
体 制	各職種の専門性を活かした、チームアプローチの体制ができている	a ・ b ・ c	b	
	センター長及び管理者が日頃の業務内容を網羅的に把握している	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が業務評価（セルフモニタリング）を定期的に行っている	a ・ b ・ c	a	
	センター内での会議、ミーティング等を通じて職員間の情報の共有ができている	a ・ b ・ c	a	
	職員がセンターの設置目的、区立施設（指定管理制度）であることを正しく理解している	a ・ b ・ c	a	
	職員の研修履歴や年間の研修計画を作成するなど、職員が計画的に研修参加できるよう配慮している	a ・ b ・ c	a	
	日常業務における課題や反省点等を共有し、センター業務の改善につなげている	a ・ b ・ c	a	
	緊急時対応マニュアル等を整備し、緊急時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	災害時対応マニュアル等を整備し、災害時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	震災等の発生を想定した「業務継続計画」を策定している	a ・ b ・ c	a	
	苦情解決についてのマニュアル等を整備し、的確な苦情対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	職員が個人情報保護に関する法令等を理解し、遵守している	a ・ b ・ c	a	
	相談時に相談者のプライバシーを確保している	a ・ b ・ c	a	
	特定の団体等に有利又は不利にならないよう、中立かつ公平な運営がなされている	a ・ b ・ c	a	
施 設 運 営	物品管理責任者を定め、区から貸与されている備品を把握し、適切に管理している	a ・ b ・ c	a	
	施設及び付帯設備を常に良好な状態で維持及び保全並びに保守管理を行っている	a ・ b ・ c	a	
	水道、電気等の使用について、エネルギー使用量を把握し、施設の省エネルギー化に取り組んでいる	a ・ b ・ c	a	
	指定管理料や利用料金等、日常から適切な会計処理が行なわれている	a ・ b ・ c	a	
	指定管理業務の経費にかかる関係書類を適切に保管している	a ・ b ・ c	a	
	労働関係法令や就業規則に則り適切な運営が行なわれている	a ・ b ・ c	a	

## 令和6年度赤坂地区高齢者相談センター 事業評価コメントシート

高齢者相談センター記入欄			運営協議会 記入欄	
項 目	(1) 今年度の取組について、良かった点、工夫した点など	(2) 次年度への課題と対応	評 価	コメント
1 設置目的達成に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民講座や予防講座、民生委員勉強会を予定どおり実施しました。地域ネットワーク強化のため、赤坂・青山地区内の内科クリニック・薬局にさいつ回りをを行い、顔の見える関係作りに努めました。実際に連絡が入ることもあり、継続の効果が出ています。</li> <li>・地域サービス事業所との意見連絡会に参加し、地域での連携方法等の検討を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や地域サロン、いきいきプラザや特別養護老人ホーム、デイサービスなど、幅広く関係機関と連携を図り、区民向けの講座や運動機能等の測定会などを開催していきます。</li> <li>・地域の医療機関、薬局などにより連携を図るため、リーフレット等を配布し、より顔の見える関係づくりを日常的に図っていきます。</li> </ul>	A	<p>各種講座や勉強会を計画どおり実施できました。</p> <p>また、医療機関をはじめとした地域の関係機関との連携を更に深め、よりきめ細かな高齢者の見守りのネットワークを構築することができました。</p>
2 介護予防ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定介護予防支援事業については、地域の居宅介護支援事業所と連携を図り、適切にサービス調整をすることが出来ました。地区内のいきいきプラザやヘルシーナ（健康増進センター）との連絡会を毎月開催し、協力体制が図れるよう進めました。</li> <li>・いきいきプラザと合同で運動機能等の測定会を実施し、必要と思われる方に声をかけるなど、地域資源を更に活用できるよう働きかけました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきプラザと協力しながら測定会、介護予防講座などを実施しました。ふれあい相談室とも協力し、みんなと元氣塾の案内などを勧め、参加者を増やせるよう支援していきます。</li> <li>・いきいきプラザやヘルシーナと連絡会を毎月実施し、介護予防事業への連携強化を図ります。</li> </ul>	A	<p>地域のケアマネジャーと連携し、適切なケアプランを提供できていました。</p> <p>また、いきいきプラザと連携し、健康な高齢者への取組も丁寧に実施されていました。</p>
3 総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数は前年度と比較して大きな増減はありませんでした。</li> <li>・ふれあい相談員とも個別事例で協力・連携し、チームとして支援することができました。</li> <li>・赤坂警察・民生委員など関係機関との連携体制が図れ、問題の早期発見や適切な対応を迅速に行うことができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝夕のミーティングでは包括、ふれあい相談員で連携を図り、縦割りにならない柔軟な対応を更に図ります。</li> <li>・全体ミーティングでは個別事例の情報共有や3職種の専門性を活かした対応方法を検討、実施していきます。</li> </ul>	A	<p>高齢者相談センターとふれあい相談員で協力し、対応できていました。朝夕のミーティングで適宜情報共有し、チームとして対応していこうとする姿勢は評価できます。</p>
4 権利擁護業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の虐待通報は26件あり、ケア会議・支援会議を48回開催しました。赤坂地区総合支所とも連携を図り、役割分担をしながら対応することができました。</li> <li>・成年後見制度の活用については、社会福祉協議会と連携し、同行訪問するなど専門職のアドバイスを受けながら、迅速な対応に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護者支援を意識しながら、赤坂地区総合支所とも情報共有を図り、迅速な対応に繋がっていきます。</li> <li>・社会福祉協議会などの関係機関と連携を図り対応していきます。</li> <li>・複雑なケースには東京都高齢者・障害者権利擁護支援センターとも連携を図り、対応していきます。</li> </ul>	A	<p>赤坂地区総合支所、社会福祉協議会、東京都高齢者・障害者権利擁護支援センターなどの関係機関と役割分担を明確にし、高齢者相談センターとして必要な支援を行うことができました。</p>
5 包括的・継続的ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーの資質向上のため、高齢者相談センター主催のケアマネジャー向けの勉強会を3回実施しました。そのうち1回は、地区内の多職種連携を図るため訪問介護事業所などにも参加いただき、課題や情報共有を図ることができました。</li> <li>・赤坂・青山地区のケアマネジャーと虐待・BCP委員会を発足し、情報共有、事例検討等を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続してケアマネジャーの資質向上のために交流会や研修会を開催します。参加事業所を増やし、横のつながりを持てるよう、関係性作りも図っていきます。</li> <li>・職員のケアマネジメント力強化のため、研修参加の機会を増やし、センター内の研修会も定期的に開催していきます。</li> </ul>	A	<p>ケアマネジャー向けに情報共有の場を提供するなど、地域のケアマネジャーへの適切な支援ができていました。</p> <p>今後も引き続き、地域のケアマネジャー支援を行うとともに、職員のケアマネジメント力の向上にも期待します。</p>
6 その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区地域ケア会議は個別事例に関する会議を2回、自立支援型地区地域ケア会議を1回、赤坂地区について考えるタウンミーティングを1回実施しました。</li> <li>・認知症予防に繋がる内容を企画し、年6回赤坂deオレンジカフェを開催するとともに、絆の会（介護家族の会）も同日に開催しました。認知症サポーター養成講座は企業、区内郵便局や中学生向けに実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難事例について、多職種、多機関で検討できる地区地域ケア会議を積極的に活用し、問題解決の方法を検討していきます。</li> <li>・介護家族の会やオレンジカフェの周知活動や、昼食会も合同開催しながら参加者の増加を図ります。幅広く参加者を増やし、より有意義な活動としていきます。</li> </ul>	S	<p>介護家族の会などで昼食会を合同開催し、参加者増加につながったほか、希薄化する地域コミュニティの再形成にもつながっている点は非常に評価できます。</p>
7 運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に法人内異動職員が1名、新規採用者2名、7月に1名が法人内異動で入職し、退職が1名ありましたが、新人職員マニュアルを活用しながら、職員同士でフォローをしい、業務の引継を行いました。</li> <li>・毎日、朝夕に申し送りを行い、職員間の情報共有や困難事例の対応方法などを検討しました。全職員参加のセンター内会議を月に1回行い、情報共有や対応方法の検討を図ることができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各個人のスキルアップを目的に、積極的に研修や勉強会に参加し、学んだ知識をセンター内で共有することで更に全体のレベルアップに繋がっていきます。</li> <li>・職員定着のため、申し送りなどを通じて更に情報共有を確実にし、職員同士のフォロー体制を図っていきます。</li> </ul>	B	<p>職員間のコミュニケーションは円滑にされていますが、年間を通じて年度協定に定める職員配置基準を満たせませんでした。</p> <p>一刻も早く必要な人員体制を整備するとともに、その体制を維持するよう取り組んでください。</p>
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤坂地区総合支所区民課保健福祉係と月1回定期連絡会を開催し、必要に応じて随時、開催しました。虐待事例や対応困難事例等の情報共有を図っています。赤坂地区運営会議（2か月に1回開催）にも参加し、赤坂地区内の福祉関係機関とも連携体制を図っています。</li> <li>・令和6年10月より地域貢献事業として、昼食会の開催を開始しました。高校生ボランティアによる活動も昼食会後に行っており、集いの場、高齢者相談センターの周知、フレイル予防、多世代交流など様々な面での効果があり、継続して行っています。</li> <li>・関係機関と連携しやすい体制が築けており、的確な役割分担による同行訪問の実施など、区民へ適切な対応を図ることができました。</li> </ul>			<p>虐待事例や対応困難事例に対して、赤坂地区総合支所をはじめとして、関係課と連携して活動及び対応できています。</p> <p>引き続き、区と協力して対応していくをお願いします。</p>